土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　坂町災害公営住宅整備に伴う地質調査委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R1-SK-1	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦一丁目7　地内	北緯	34° 18′ 02.1407″
発注機関	広島県土木建築局営繕課（住宅営繕GL）	調査期間	令和元年 6月 6日～ 令和元年 6月11日	東経	132° 30′ 25.5104″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 3.76m	角度	180°上 90° 下 0° / 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	27.28m	地盤勾配	0° 水平 / 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1-B48型
					エンジン：ヤンマー　NFD-13EK型　ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	3.36	0.40		砂質土		黄褐	rd2		盛土 ・砂は粗粒砂主体、粒度不均一
	3.06	0.70		コンクリート		淡灰			旧構造物基礎
1									埋土 ・礫はφ30mm程度以下の中～粗礫が混入 ・砂は細～中粒砂から成り、スラグ状の黒色粗粒分が混入 ・φ5mm程度以下の鉱物片～細礫及び細粒分を含み粒度不均一 ・焼却灰及び炭化物を含む ・GL-1.00～1.50m間、強い臭気を伴う
2				礫混り砂		黒褐	rd1		
	0.96	2.80							
3									・全体に小量の湧水が認められる ・場所的に、φ50mm程度以下の円磨度中位な粗礫が点在 ・細粒分に乏しく、全体に含水比高い ・砂は粗粒砂主体であり、φ5～10mm程度以下の鉱物片及び中～粗礫を不規則に挟み粒度不均一 扇状地堆積物 ・主に背後地からの崩積土砂から成る
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10				砂		淡褐	rd3		
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17	-13.34	17.10							
	-13.84	17.60		シルト質砂		暗灰	rd2		海成(潟湖末期)堆積物 ・砂は微細砂～細粒砂 ・上部は黒色腐植層をブロック状に挟む
18				シルト混り砂		暗緑	rd3		海成堆積物 ・砂は微細砂～細粒砂 ・腐植の微砕片が点在
19	-15.14	18.90							
20				礫混り砂		淡褐	rd3		更新世陸成堆積物 ・礫はφ50mm程度以下の円磨度中位な粗礫が混入 ・砂は粗粒砂主体であり、φ5～10mm程度以下の鉱物片及び中～粗礫を不規則に挟み粒度不均一 ・細粒分に乏しく、全体に含水比高い
21	-17.84	21.60							
22	-18.34	22.10		シルト混り砂		淡褐	rd2		泥流型土石流堆積物 ・砂は微細砂～細粒砂 ・φ2mm程度以下の鉱物片を含む
23				砂礫		淡褐	rd5		更新世陸成堆積物 ・礫はφ75mm程度以下の円磨度中位な粗礫が混入 ・砂は粗粒砂主体であり、φ5～10mm程度以下の鉱物片及び中～粗礫を不規則に挟み粒度不均一 ・細粒分に乏しく、全体に含水比高い ・GL-24.70m付近、φ80～90mm程度の粗石が点在
24									
25									

孔内水位／測定月日：6/8 2.31

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	1	2	2	5/300		
	1.45						
2	2.15	1/200	1/200		2/400		
	2.55						
2	3.15	1/150	1/150		2/300		
	3.45						
3	4.15	1/150	2/150		3/300		
	4.45						
5	5.15	1	2	2	5/300		
	5.45						
8	6.15	2	2	4	8/300		
	6.45						
11	7.15	4	4	3	11/300		
	7.45						
13	8.15	4	4	5	13/300		
	8.45						
11	9.15	4	3	4	11/300		
	9.45						
14	10.15	4	5	5	14/300		
	10.45						
15	11.15	5	5	5	15/300		
	11.45						
16	12.15	6	5	5	16/300		
	12.45						
9	13.15	3	3	3	9/300		
	13.45						
10	14.15	3	4	3	10/300		
	14.45						
12	15.15	4	4	4	12/300		
	15.45						
13	16.15	4	5	4	13/300		
	16.45						
4	17.15	1	1	2	4/300		
	17.45						
25	18.15	7	9	9	25/300		
	18.45						
16	19.15	7	4	5	16/300		
	19.45						
16	20.15	5	6	5	16/300		
	20.45						
13	21.15	7	4	2	13/300		
	21.45						
50以上	22.15	22	29	9/10	60/210	210	
	22.36						
50以上	23.15	17	23	20/70	60/270	270	
	23.42						
50以上	24.15	21	16	23/90	60/290	290	
	24.44						

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
2.15	SK1P1	⊖	粒度 比重 含水	
2.55				
20.15	SK1P2	⊖	粒度 比重 含水	
20.45				

	-22.04	25.80		砂礫		淡褐	rd5																											
26				玉石混り砂礫		淡褐	rd5		更新世土石流堆積物 ・確認石長L=10～15cm程度の粗石が混入 ・礫はφ50mm程度以下の中～粗礫 ・基質部は流れマサ状の、粗粒砂を主体とする粒度不均一な砂質土																									
27	-23.52	27.28																																
28																																		
29																																		
30																																		
31																																		
32																																		